

「令和7年度第2回循環型社会推進会議」次第

日時：令和8年2月20日(金)午後2時

会場：城南衛生管理組合 事務所棟 大会議室

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 令和7年度の取組について【資料1】
 - (2) 最近の他団体取組事例について【資料2】
 - (3) 当組合における目標【資料3】
- 4 その他報告事項
- 5 閉会

	宇治市	城陽市	八幡市	久御山町	宇治田原町	井手町	組合
紙ごみ削減対策	○古紙・雑がみの分かり易い分別方法の普及・啓発 市政だより 特集号・HP 出前講座 環境教育（幼保こども園、小中学校）	継続：HP掲載のごみ分別辞典で周知	継続：ごみ分別アプリで周知	広報紙 特集号・HP	ごみの出し方チラシを配布	広報紙	インスタ投稿
	○古紙・雑がみの分別の必要性についての意識啓発 市政だより 特集号 古紙回収日程表裏面啓発記事 継続：未組織地域の収集実施	環境衛生のしおり改定 HPで古紙回収業者紹介準備中	継続：楽しく学べる「やわたエコかるた」		ごみの出し方チラシを3月に一新し配布	継続：町による回収	インスタ投稿・企画展 段ボール工作教室
	○古紙・雑がみ回収拠点（民間回収拠点を含む）の場所・仕組の周知 継続：バック回収箱設置場所を紹介	広報紙、HPで持ち込み回収拠点紹介準備中 継続：衛生センターで古紙回収			継続：再生資源(古紙)集団回収状況と実績を広報紙とHPに掲載		回収拠点マップのHP掲載
		継続：奨励金	継続：奨励金	継続：奨励金	継続：奨励金	継続：奨励金	継続：奨励金
生ごみ削減対策	○生ごみの3キリ運動(水きり、食べきり、使いきり)の普及・啓発 市政だより 3キリ啓発記事 出前講座 環境教育（小学校） キエーロ	広報紙、HPで3キリ啓発 環境衛生のしおり改定	広報誌3キリ啓発 継続：楽しく学べる「やわたエコかるた」 継続：令和7年度八幡市環境事務所からのお知らせで啓発 環境教育絵本「ぜんぶ たべちゃうよ」完成記念「読み聞かせ会&エコクッキング」	広報紙 特集号 継続：環境の日イベントで啓発	ごみの出し方チラシを配布 役場での企画展	広報紙 町内全小学校に加え今年度から井手やまぶき支援学校もドライ・コンポスト等を活用したごみの減量活動を実施	インスタ投稿・広報紙・HP・企画展・エコクッキング教室
	○フードドライブ取組店舗の周知 うーちゃフェスタ	継続：常時回収拠点設置、10月に市内金融機関・商業施設等で期間限定実施	継続：市役所で拠点回収を実施 継続：スマートエコ祭で実施	役場、町立各こども園、ファミリーマート（もみいけ店、佐古店、森店、イオンモール久御山、社会福祉協議会）に常設			インスタ投稿
	○生ごみ処理機やコンポストなどを活用した生ごみを減量する方法の普及・啓発 出前講座 キエーロ	キエーロ啓発事業 アル・プラザ城陽 継続：購入補助 継続：機器貸し出し	継続：スマートエコ祭で啓発	キエーロ啓発イベント（イオンモール久御山） 久御山町環境政策プロモーション事業でコンポスト事業 実践実験モニター	継続：導入補助	継続：導入補助	キエーロ啓発イベント（アル・プラザ城陽・イオンモール久御山）・インスタ投稿・HP
				食品ロス学習会 開催			地域ニュースサイト号外NETで組合キエーロ記事に
プラスチックごみ削減対策	○マイボトル・マイバック運動の普及・啓発 うじスマートウェルネス推進事業「うじウォーク」	継続：環境衛生のしおり	やわた未来いきいき健康プロジェクトでマイボトルを啓発 継続：楽しく学べる「やわたエコかるた」				環境ふれあいフェスタでのノベルティ
	○プラスチック使用製品廃棄物の一括回収の推進 京都環境フェスティバル出展	自治会長会議で周知 老人福祉センターで周知 公共施設で事前説明会開催 希望する団体に事前説明会を開催 広報紙特集号で啓発 環境ふれあいフェスタや市のイベントで啓発	自治会への周知 自治連合会へチラシ配布 分別冊子の一新と全戸配布 広報紙1～3月号で掲載 HPでの掲載（しおりとQ&Aの作成） 住民説明会の開催（1～3月で計3回開催） 藤芥車の看板での啓発 ごみ分別アプリ等の内容修正	チラシの全戸配布（3月）	各地区で説明会実施 広報紙でも啓発・HP・SNS ハンドブック新全戸配布	広報紙	工場整備・体制整備
	○プラスチック製容器包装やペットボトルなどプラ製品の分別方法の周知 出前講座・号外・HP・SNS	出前講座 広報紙特集号	継続：スマートエコ祭で海洋ごみ等発生抑制啓発	広報紙（3回）・HP	役場での企画展	広報紙	インスタ投稿・広報紙・企画展・講演会および出展・教室
その他の減量対策	○エコポイントを活用した分別やリユースの促進（エコポイントの導入については市町の判断に委ねる） インスタ投稿1回 ポイント付与メニュー追加 継続：やっちゃんエコ減点ドライブスルーdeリサイクル	アル・プラザ城陽や環境ふれあいフェスタ、市のイベントで普及啓発 継続：ポイント付与の実施 合同説明会開催	継続：ごみ分別アプリによるごみ分別・ごみ収集日の検索機能 継続：インスタ投稿、facebookにスマートエコ祭を投稿	合同説明会開催 町民運動会での啓発 フードドライブで食品を提供したら、エコアクションポイント付与	R8導入に向け準備中	R8導入に向け準備中	R7.7～エコポイント開始
	OSNSや若者の意見を取り入れるなど新しい啓発方法 インスタ投稿7回	継続：YouTube 家庭ごみの分け方・出し方 英語、中国語、ベトナム語、やさしい日本語版		インスタ投稿「環境かわらばん」	LINEでプラー一括回収啓発		
	○スーパーなど民間回収拠点を活用した分別・啓発 アルプラザ宇治東店 宇治子どもものづくりフェス開催	アル・プラザ城陽、アヤハディオでキエーロ啓発 継続：食用油常時回収拠点設置		イオンモール久御山に食用油回収拠点		継続：廃食油のイベント回収	キエーロ啓発イベント（アル・プラザ城陽・イオンモール久御山）
	○教育、福祉分野など他部局と連携した環境教育や普及啓発 継続：横島中学との宇治川清掃 継続：宇治のすけを用いた分別等環境教育を実施 保育所、幼稚園、小中学校	継続：小学校への出前講座	継続：摂南大学との連携により、環境教育絵本を作成し、食品ロスを啓発	久御山町環境政策プロモーション事業で町内小学校で環境学習を実施	町内小学校2校との連携		立命館宇治高校との連携
	○3市3町のごみ分別について可能な限り統一化						「プラスチック資源」に統一
	○減量目標値等の設定						
		継続：無料資源回収（雑紙・天ぷら油・ペットキャップ・蛍光灯・小型家電・インクカートリッジ・羽毛ふとん・充電電池） 継続：海外リユース事業（自転車等） 継続：中学校制服リユース	環境ふれあいフェスタや市のイベントで啓発 継続：小型家電や小型充電式電池の常時拠点回収 継続：食用油、蛍光灯の定期拠点回収	継続：出前授業・出前講座 次年度クーリングシェルダー募集 継続：打ち水実施報告 継続：「環境・ごみ」についてをHPにアップ 継続：令和7年度「やわたのまちの小さな仲間たちフォトコンテスト」	クロソビア市「くみやまスマイルフェスティバル」への環境ブースの出店	役場での企画展・廃食油や小型家電・リチウムイオン電池・水銀使用製品の拠点回収再周知	
経済的インセンティブの活用	○資源化できるものは可能な限りごみ分別の徹底を図るため、住民の理解を十分に得ながらごみ有料化を進めるべき ○有料化で得られた財源による住民サービス向上等への活用方法						

※黄色枠内の太字は前回資料から追加した項目

最近の他団体取組事例について

当組合のごみ減量を目的に、他団体の状況を調べました。さまざまな団体の特色ある取組があることから、ごみ減量先進地の調査なども引き続きおこないます。

- ・ごみの分別名称を分別意識が向上するものに変更

徳島市…燃やせるごみを「分別頑張ったんやけど、燃やすしかないごみ」に

小山市…燃やすごみを「もやすしかないごみ」に

※令和6年度と令和7年度の4～9月を比較すると約 13.8%ごみ量が減少。

福島市…燃やすごみを「資源にできない燃やすごみ」に

吉見町…燃やせるごみを「分けて 減らした 燃やせるごみ」に

- ・ごみ減量を目的としたゲーム

鹿屋市では分別知識を正しく身につけることを目的とした「ごみ減量化ゲーム」を HP 上で公開。(企業からの無償提供)画面上部から落下してくる様々な種類のごみを、鹿屋市の分別方法に合わせて分別することで、楽しみながら、正しい分別方法について理解を深めることができます。



(鹿屋市 HP)

・雑がみの積極的回収

上田市では、雑がみが燃やせるごみになることを防ぐため、雑がみ回収袋を配布しています。担当課や自治センターなど市内5か所の指定場所で、1人1回あたり3枚まで袋を受け取ることができます。

また福生市では「雑がみ回収袋を作ってみよう！」と銘打って、読み終わった広報紙を活用し、雑がみ回収袋を作ることを提案しています。

回収袋があることで、小さい紙など今まで排出しにくかったものが排出しやすくなるだけでなく、雑がみに対する意識啓発にもつながります。



(上田市 HP)



(福生市 HP)

・生ごみ対策としてのディスポーザーの設置補助金及び最新式コンポスト

黒部市や藤枝市では公共下水道等を使用する家庭を対象に、ディスポーザーの設置に対し補助金制度を設けています。(藤枝市は再設置費用も対象)ディスポーザーはキッチンのシンクに設置し、生ごみを細かく砕くことで水と一緒に下水道へ流す設備です。黒部市では「生ごみの量が減ること」「悪臭対策になること」「ごみ出し回数が減ること」などのメリットとともに「ディスポーザー設置でCO2削減」もあげられています。これは「黒部市下水道バイオマスエネルギー利活用施設」で下水処理場から発生する汚泥やし尿等と混ぜ合わせて、バイオマスエネルギーとして回収するとともに、ごみの焼却量が減少することで、CO2が減るとのことです。



(黒部市 HP)

また横浜市や浜松市では企業と連携し、最新式のコンポストの実証実験が行われました。このコンポストは高速分解が得意な微生物群が入っており、ソーラー発電の電力で自動駆動します。

浜松市「スマートコンポスト」実証実験
開始式の様子(中日新聞記事より引用)



・生ごみのたい肥化事業

家庭の生ごみだけを回収し、処理施設で発酵させることで堆肥を作ります。日置市においては、各家庭に生ごみ水切り器とバケツを1つ配布、ごみステーションに回収用たるを1つ設置することで、いつでもステーションへ生ごみを捨てることができます。(ステーションからの回収は週2回)また地域活性化奨励金制度を設け、生ごみのリサイクルに取り組んだ団体(自治会)へ奨励金を支払っています。

地域活性化奨励金 = 生ごみの回収量(kg) × 10 円(年間上限 50,000 円)

日置市生ごみ再生堆肥「よかん土」販売中!



日置市生ごみ再生たい肥「よかん土」

日置市内で排出された生ごみを回収し、竹チップ酵素を混ぜて作られた、
環境にやさしい酵素たい肥です。

令和4年4月1日から販売しています。

価格は【1kg当たり33円】

ぜひご利用ください。



(日置市 HP)

・生ごみ堆肥化の受け入れ

川崎市では、家庭から出る生ごみを段ボールコンポストで堆肥化することを推奨しています。また堆肥化しても使い切れない場合は、受け入れ場所に持参・無償提供することで市内の花壇や農園で活用してもらうことも可能となっています。

生ごみ堆肥受け入れます！

川崎市では、家庭から出た生ごみが、焼却ごみ量の2割程度を占めています。この生ごみを削減するために、堆肥化を推進しております。

生ごみは栄養いっぱいの資源です。循環させることにより、美味しい野菜やささいな花壇も作ることができます。



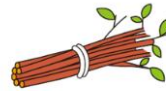
(川崎市 HP)

・枝ごみの再資源化

京都市では剪定枝の移動式拠点回収を行っています。モデル事業実績を踏まえ、排出の多い時期や地域で実施しています。また千葉市では剪定枝だけでなく、刈草や葉も含めた資源収集日を設け、焼却ごみ減量及びリサイクルの施策促進を図っています。

木の枝

1本あたり太さ(直径)20cm、長さ100cm以内に切り、ひもで束ねる



刈り草・葉

透明袋(45ℓ以内)または旧指定袋に入れる(根についた土はよく払ってください)



・衣服のリサイクル事業

目黒区では「衣類回収プロジェクト」を開始し、衣類の循環回収をしています。また回収ボックスの常設設置も行ってます。また名古屋市では「集団資源回収」「リサイクルステーション」「古紙リサイクルセンター」の活用を呼び掛けるとともに、企業とリペアワークショップを開催され、衣服の修理を通じた意識啓発に取り組んでいます。また管内にも店舗を持つ株式会社平和堂でも滋賀県一部店舗において衣料の拠点回収に取り組んでいます。

・ごみ減量・リサイクル協力店制度

本庄市内の小売店舗でごみの減量化や資源化に積極的に取り組む店舗をごみ減量・リサイクル協力店(以下、協力店)として市が認定する制度です。認定基準は次の取組のうち、2つ以上の取組を行っている店舗を認定します。
 「資源化可能なものを店頭回収の実施」「買物袋(マイバッグ)持参を奨励し、レジ袋の削減に努めている」「商品の簡易包装の推進」「再生商品や環境に配慮した商品を販売」「店舗から出るごみの減量化・資源化に努めている」



(本庄市 HP)

・夏休みごみ減量チャレンジ！！(市内小学生対象)

伊勢市では夏休み期間中に小学生を対象とした「集めて！はかって！雑がみチャレンジ」と「めざせ！ごみゼロチャレンジ」を企画。家庭で「雑がみ」分別や水切りや食べきり等に取り組む、タブレット端末から記録フォーム」に入力することで、雑がみと生ごみ・食品ロス・プラスチックの削減の啓発につなげます。

生ごみの減量チャレンジ
げんりょう
 伊勢市の家庭から出るもえるごみの約24%は生ごみで、そのうち80%が水分なんだ。生ごみをもやすためにはたくさんのねん料が必要で、ごみを減らすためには生ごみの水切りや、生ごみそのものの減量が欠かせないんだ。おうちの人といっしょに、次のチャレンジをしてみよう！

チャレンジ 生ごみの水切りをする

もし、おうちに「生ごみ処理機」や「コンポスト容器」がある場合は、水切りのかわりにおうちの人といっしょに使ってみましょう。

食品ロスの削減チャレンジ
まくげん
 食品ロスとは、「まだ食べられるのにすてられてしまう食品」のこと。日本では、年間523万トンの食品ロスが発生しているんだ。食品ロスを減らすために、2つのチャレンジをしてみよう！

チャレンジ ・「消費期限」「賞味期限」が表示されている食品を見つける
 ・「消費期限」「賞味期限」のちがいを調べよう

どんなことに気づいたかな？

チャレンジ 食事を残さず食べきる

まずは7日間、食事を残さず食べてみよう！いつも残してしまう人は、自分の食べられる量がどれくらいか考えて、おうちの人に伝えてみよう。

プラスチックの削減チャレンジ
ぷらすチック
 プラスチックは、ごみとしてもやすと多くのCO₂(二酸化炭素)が発生し、地球温暖化の原因になってしまうんだ。また、プラスチックをポイ捨てすると、海に流れ着いて分解されずに何百年もただよい続けてしまったり、海の生物が食べてしまったりするんだ。プラスチックを減らすために、2つのチャレンジをしてみよう！

チャレンジ プラマークとペットボトルマークを見つけて、正しく分別しよう
 水とうを持ってでかけたり、買い物にはエコバッグを持っていこう

(伊勢市 HP)

当組合における目標

組合の現状や条件を整理することで、実現可能な目標を設けます。

①現状

組合における家庭系可燃ごみはこの10年で14%減少しており、人口減少率が約6%なので、排出原単位が減少しています。また一般的には下記の条件が影響しているといわれます。

人口、収集頻度(回/週)、ステーション/個別、分別数(種類)、
単独世帯/複数人数世帯、戸建/マンション など

各種調査などからは、以下の内容が確認されました。

▼3市3町では人口は減少傾向が続いている

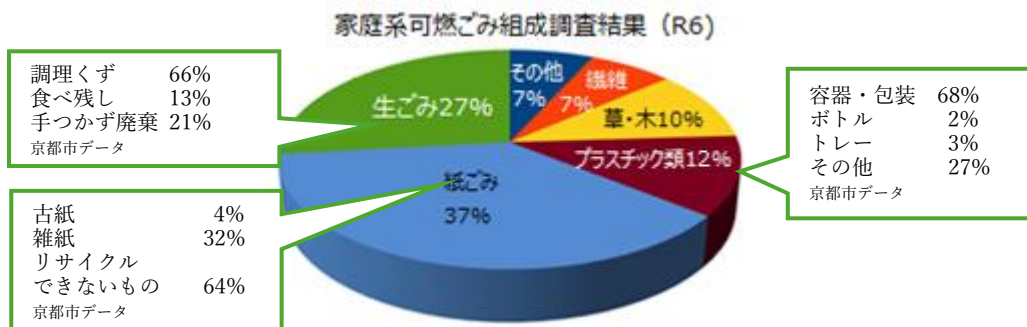
▼マンションなど世帯数は増加

世帯人数は1~2人世帯が増加、3人以上の世帯は減少

(世帯人数が小さいと外食・中食が増え、生ごみの量が減るとされる)

②ごみの組成

また、組合における家庭系可燃ごみの令和6年度組成結果は以下のとおりで、紙ごみ・生ごみ・プラスチックごみが76%を占めています。



現状の組成からみた削減方途と期待される削減率(実施率100%)

リサイクル可能な紙資源の分別の徹底	13%削減	紙ごみ 37%×(古紙 4%+雑紙 32%)
プラスチック資源一括回収の徹底	8%削減	プラ 12%×容器・包装 68%
食品トレイなどの店舗回収利用促進	0.4%削減	プラ 12%×トレー 3%
生ごみコンポスト・キエー口の普及促進	17%削減	生ごみ 27%×調理くず 66%
フードロス削減の取組	9%削減	生ごみ 27%×(食べ残し 13%+手つかず廃棄 21%)
衣類の再資源化促進の徹底	7%削減	繊維 7%
剪定枝、落ち葉等の資源化	10%削減	草・木 10%

※なお令和8年4月に組合の事業系の一般廃棄物処理手数料が改訂されるので、その影響について注視してまいります。(1,500円/100kg⇒300円/10kg)

「環境ふれあいひろば」における環境啓発事業の実施

○企画展「捨てない暮らし展」

使い切る・直す・循環させるといった、ごみをできるだけ出さない暮らしをテーマに、ごみ減量を来場者が実感を持ちやすい構成とし、行動変容につなげることを目指す。

期間：令和8年1月14日（水）～令和8年3月29日（日）



○関連イベントの開催

企画展と連動し、「捨てない暮らし」を実践するためのヒントを楽しく学べる関連イベントを開催する。

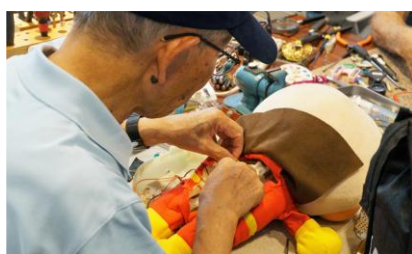
①つくろいもの教室

日時：令和8年2月21日（土）10：00～/13：30～

穴のあいたセーターや靴下などの修理体験



②おもちゃ病院



日時：令和8年3月22日（日）10：00～12：00
お持ちいただいた壊れたおもちゃをおもちゃドクターが修理

